

ソーシャルデザイン工学専攻

■ ディプロマポリシー（修了認定の方針）

本校専攻科の養成する人材像（ディプロマポリシー）は以下のとおりである。

学則で定める修了要件を満たすとともに、以下に示すような知識及び能力を備えた者に対して修了を認定する。

（養成する人材像）

- ① 本科で学修した工学（融合複合）分野の知識・技術をさらに深めながら、地域・産業あるいは世界が抱える諸課題に対して、最先端の情報技術を連携させた技術システム・社会システムを創造・デザインして解決に貢献できる人材
- ② 情報・環境・公共の安全等に対応できる高い倫理観をもち、国際的な視点に立って判断のできる人材
- ③ 複数の分野の知識の新たな組合せを活用することで、それまでに個別の分野の知識では解決が困難であった最先端の課題に取り組むことができ、地域や産業の即戦力として幅広く活躍できる人材

この養成する人材像（ディプロマポリシー）を実現するため、具体的な学習・教育目標として次の(A)～(E)を掲げて教育を実施する。

（学習・教育目標）

- (A) 高い倫理観をもち、グローバルな視点に立って行動できる。
- (B) 数学・自然科学、情報工学及び専門基礎に関する知識・技術を工学（融合複合）分野に応用することができる。
- (C) 高度な専門知識をもち、その技術と情報技術を組み合わせて構築させる複合システムデザインの基礎を身につけることができる。
- (D) 国際適応力を備え、グローバルに活躍できる。
- (E) 地域・産業あるいは世界が抱える課題解決のための創造力、複合システムデザイン力及びチーム力を発揮できる。

■ カリキュラムポリシー（教育課程の編成及び実施方針）

学習・教育目標に掲げる能力を育成するために、教育課程は次の基本方針（カリキュラム・ポリシー）をもとに編成している。

教育課程の実施方針は、本科の教育課程との接続を「授業科目関連図」に示すとともに、シラバスにおいて教育内容・方法、学修成果の評価等について明記する。なお、評価はシラバスに示す成績評価の基準・方法に従って行い、60点以上を合格とする。

- (A) 高い倫理観をもち、グローバルな視点に立って行動できる能力を育成するために、一般科目（技術者倫理、社会学特論）、専門共通科目（環境工学特論、プロジェクトマネジメント概論、地域計画学）を設ける。

- (B) 工学(融合複合)分野に応用できる能力を育成するために、専門基礎科目(数理学、基礎科学、情報工学に関する科目)、専門共通科目(情報システム論)を設ける。
- (C) 高度な専門知識は、異なる工学分野の教員が協働で授業を行う連携教育(機械工学と電気電子工学または土木工学との連携等)で深めていく。また、システムズエンジニアリングの基礎力とデザイン思考力を育成するために、実験・演習科目(システム工学実験、システムデザイン演習など)を設ける。
- (D) 国際適応力を備え、グローバルに活躍できる能力を育成するために、本科からの英語及び日本語教育に加え、専攻科では「英語コミュニケーション」、「英語購読」を必修科目として設ける。
- (E) 地域・産業あるいは世界が抱える課題を解決できる能力を育成するために、「インターンシップ」、「長期インターンシップ」、「海外インターンシップ」、専門分野の異なる学生がチームを組む「プロジェクトデザイン工学演習」と、異なる工学分野の教員を含む2名以上の教員から指導を受ける「特別研究」を設ける。

■ アドミッションポリシー(入学者受け入れの方針)

(入学者受け入れの基本方針)

本校専攻科では、高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な専門学術を教授する。また、教養教育及び実践的教育を通じて、幅広い教養と優れた人格を備えた広く産業の発展に寄与することのできる自立した技術者の養成を行う。

本専攻科入学者として、以下に示す人材を求めている。

1. 専門の基礎知識とコミュニケーション能力を有し、さらに高度な専門知識を学びたい人
2. 課題に対して主体的に物事に取り組み、解決しようとする意欲のある人
3. 技術を生かして地域や社会に貢献したい人
4. 他者と協働しながら物事に取り組める人

(入学者選抜の実施方法)

〔推薦による選抜〕

入学者の選抜は、調査書、推薦書、小論文及び面接(専門科目に関する口頭試問を含む)の結果を総合して判定する。

〔学力検査による選抜〕

入学者の選抜は、学力試験、調査書、面接の結果を総合して判定する。

学力試験は、数学及び専門科目について筆記試験を行い、英語については出願時に提出された TOEIC スコア等により評価する。

〔社会人特別選抜〕

入学者の選抜は、調査書、推薦書又は業績調書、小論文及び面接の結果を総合して判定する。

(入学者選抜に係る基本方針)

主たる専門分野は取得を希望する学位区分のことであり、出願時に提出させる。

入学者選抜毎に全受験者を1つの選考資料で序列し、上位から合格者を決定することを原則とする。